

もくじ

1. うらしま太郎 2
2. カッパの雨ごい22
3. おむすびころりん42
4. しっぽのつり68
5. 若がえりの水84
6. おぶさりてえ 100
7. てんぐの隠れみの 118

たろう うらしま太郎

原作： 日本のお話

イラスト： 若林 奏子

編集： YellowBirdProject

うみべ むら たろう りょうし わかもの
むかしむかし、ある海辺の村に、太郎という漁師の若者が
す
住んでいました。

ひ たろう しごと お いえ かえ とちゅう はまべ
ある日、太郎が仕事を終えて家に帰る途中、浜辺に
こ あつ
子どもたちが集まって、なにやらさわいでいました。

み こ おお き えだ
見ると、子どもたちが大きなカメをとりかこんで、木の枝
あそ
でつついて遊んでいたのです。

きみ
「おい君たち！なにをしているんだ！」

たろう こえ あ こ に
太郎が声を上げると、子どもたちはあわてて逃げていきまし
た。



もり なか ちい いけ いっぴき
むかしむかし、とある森の中の小さな池に、一匹のカッパ
す
が住んでいました。

きんじょ むら お た はたけ
このカッパは、ときおり近所の村に下りては、田んぼや畑
さくもつ あ むらびと
の作物を荒らすので、村人たちはとてもこまっていました。

ひ むら ぼう す いけ
ある日、村のお坊さんが、このカッパの住む池にやって
きました。



村に着いたごんたは、まずだんご屋に向かいました。

ごんたは、お客さんのお皿に乗っていただんごを、ぱくりぱくりと食べ、さらにお茶までずずっと飲み干してしまいました。

だんご屋の主人も、だんごを食べられたお客さんも、これにはおどろきました。

「おいおい、おれのだんごが消えちまったぞ！」
「湯のみが浮いて、お茶まで消えたぞ。
こいつはいったいどうしたことだ!？」

(ははは、おどろいてるおどろいてる。
さーて、次はどこに行こうかなと)

ごんたは、口元に付いていたあんこをぬぐって、店を出ました。

するとその時!

